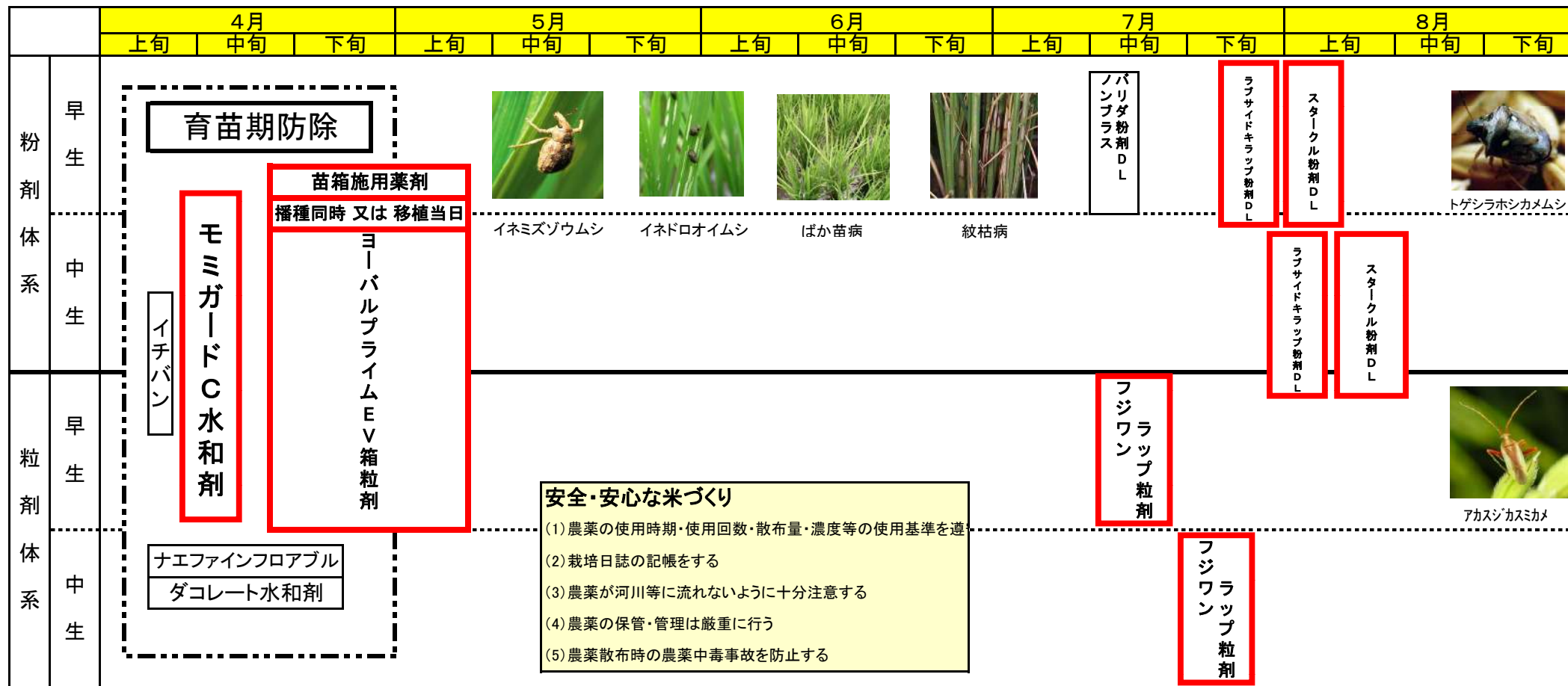


令和5年度 水稲防除こよみ

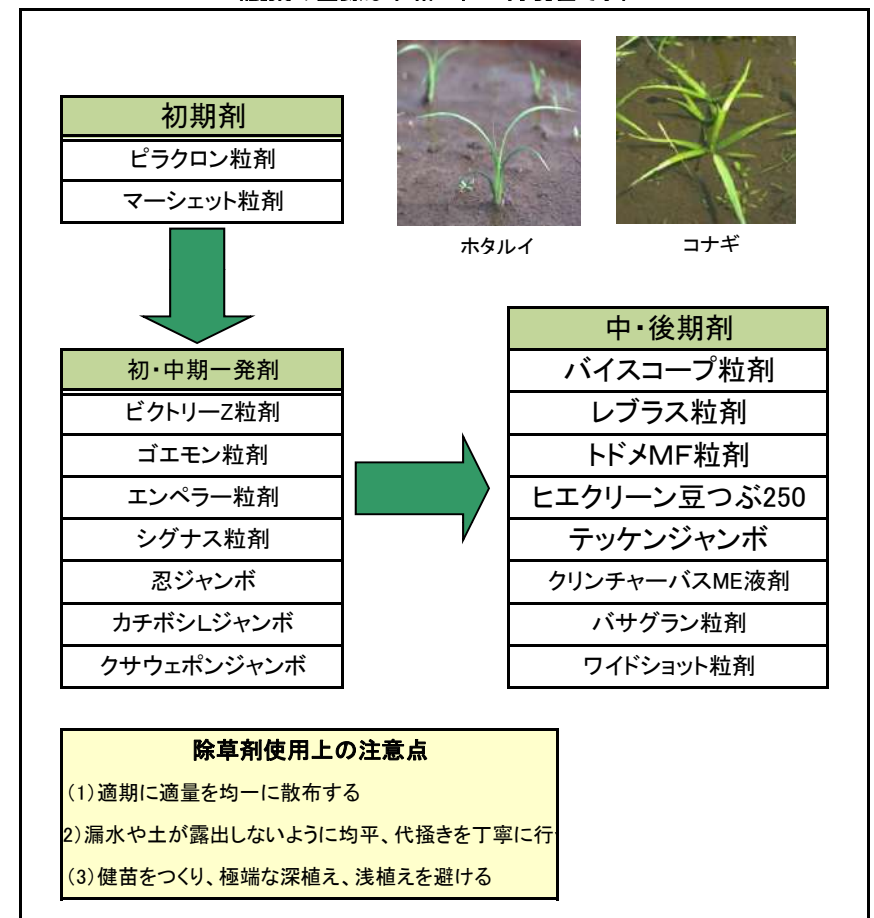
【本田防除体系】



安全・安心な米づくり

- (1) 農薬の使用時期・使用回数・散布量・濃度等の使用基準を遵守する
- (2) 栽培日誌の記帳をする
- (3) 農薬が河川等流れないように十分注意する
- (4) 農薬の保管・管理は厳重に行う
- (5) 農薬散布時の農薬中毒事故を防止する

【水稲除草体系】 (農薬名は農協の推奨品目です) (農薬の登録は令和4年12月現在です)



除草剤使用上の注意点

- (1) 適期に適量を均一に散布する
- (2) 漏水や土が露出しないように均平、代掻きを丁寧に行う
- (3) 健苗をつくり、極端な深植え、浅植えを避ける

育苗防除

防除時期	対象病害虫	農薬名	使用方法	施用日
育苗器材の消毒	育苗雑細菌	イチバン	・500倍液(水250Lにイチバン500mlを溶かす)に瞬間浸漬する	
種籾の消毒	もみ枯細菌病 苗立枯細菌病 褐条病 ばか苗病 いもち病	モミガードC水和剤	・種籾をモミガードC水和剤200倍液に24時間浸漬する ・種子袋に種籾は五分目程度入れる ・消毒中に2~3回薬液を攪拌する ・浸種時に最初の3日間は水交換しない	
播種時から緑化期 但し、移植15日前まで	ピシウム菌 フザリウム菌 リゾーパス菌 ムレ苗防止	ナエファインフロアブル	・1箱当たり1,000倍液を500ml灌注(ナエファイン1本100mlで200箱分)	
播種時から緑化期	リゾーパス菌 トリコデルマ菌	ダコレート水和剤	・1000倍液を1箱あたり1L灌注 ・播種14日後まで	

水稲本田防除(粉剤)

防除時期	対象病害虫	農薬名	散布量 (10a当り)	特徴・使い方	安全使用基準 (収穫前日数)	施用日
出穂10~15日前	いもち病 紋枯病	ノンプラスバリダ粉剤DL	4kg	・ごま葉枯にも登録あり	14日	
穂揃期	いもち病 カメムシ類 ウンカ類	ラフサイドキラップ粉剤DL	4kg	・殺虫殺菌剤 ・カメムシ防除に効果大	14日	
傾穂期	カメムシ類 ウンカ類	スタークル粉剤DL	3kg	・カメムシ防除剤 ・残効性が高い	7日	

水稲除草剤

種類	農薬名	使用方法	施用日
初期剤	ピラクロン粒剤	・田植同時散布できる初期剤	原則、一発処理剤・中期剤との体系で使用
	マーシェット粒剤	・田植後3~5日まで	
	1kg/10a		
初・中期一発剤	ビクトリーZ粒剤	・田植後5日からノビエ3.0葉まで ・収穫60日前まで	1kg/10a
	ゴエモン粒剤	・田植直後からノビエ2.5葉まで ・田植同時散布可能	1kg/10a
	エンペラー粒剤	・田植直後からノビエ3.0葉まで 但し、移植後30日まで ・田植同時散布可能	1kg/10a
	シグナス粒剤	・田植直後からノビエ3.0葉まで ・田植同時散布可能	1kg/10a
	忍ジャンボ	・10パック(200g)/10a ・田植直後からノビエ2.5葉但し移植後30日まで	
	カチボシジャンボ	・10パック(300g)/10a ・田植直後からノビエ2.5葉但し移植後30日まで	
	クサウエボンジャンボ	・10パック(400g)/10a ・田植直後からノビエ3葉但し移植後30日まで	
中・後期剤	パイスコープ粒剤	・田植後14~60日但し収穫45日前まで ・多年生雑草が対象(ノビエに効果なし)	1kg/10a
	レプラス粒剤	・田植後14日からノビエ4.0葉まで ・ノビエ+多年生雑草 収穫60日前まで	1kg/10a
	トドメMF粒剤	・ノビエ専用剤 田植後14日からノビエ5.0葉まで ・収穫50日前まで	1kg/10a
	ヒエクリーン豆つぶ250	・ノビエ専用剤 田植後15日からノビエ4.0葉まで ・収穫45日前まで	250g/10a
	テッケンジャンボ	・田植後15日からノビエ4.0葉まで ・ノビエ+多年生雑草 収穫60日前まで 10パック(500g)/10a	
	クリンチャーバスME液剤	・ノビエ+多年生雑草 田植後15日からノビエ5.0葉まで ・落水散布 収穫50日前まで	1,000ml/10a
粒剤	パサグラン粒剤	・多年生雑草が対象。落水散布で3~4日間入水しない ・田植後15日から55日 収穫60日前まで	3~4kg/10a
	ワイドショット粒剤	・ノビエ+多年生雑草 田植後15日からノビエ4.0葉まで ・収穫45日前まで	1kg/10a

水稲苗箱防除

防除時期	対象病害虫	農薬名	散布量	特徴・使い方	安全使用基準 (収穫前日数)	施用日
播種同時 又は移植当日	いもち病 紋枯病 穂枯れ(ごま葉枯病) 白葉枯病 内穎褐変病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ニカメイチュウ イネツトムシ イナゴ類	ヨーバルプライムEV箱粒剤	50g/箱	・播種時に散布することで省力化 ・量を均一に散布 ・ 紋枯病にも効果あり ・初期害虫にも効果あり ・高密度は種に登録あり	播種時覆土前 5 移植当日	

水稲本田防除(粒剤)

防除時期	対象病害虫	農薬名	散布量 (10a当り)	特徴・使い方	安全使用基準 (収穫前日数)	施用日
出穂10日前	いもち病 ニカメイチュウ ウンカ類 カメムシ類	フジワラップ粒剤	4kg	・散布時は水深3cm以上で3~4日は湛水状態	30日	